

嵯峨

京都市立嵯峨小学校



嵯峨小学校の学校評価は、本校の指針である『嵯峨小学校の教育』に基づいて、各家庭と連携を図り、子どもたちの学びと育ちを実現できているかを考察し、今後の取組について具体的な方向性を示すためのものです。保護者の皆様からいただいたアンケートや児童のふりかえりも参考にさせていただいています。

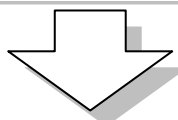
<平成26年度 第1回学校評価結果について>

学校による自己評価

さらに子どもたちの学びと育ちを実現するために

～言語活動の充実と規範意識の行動化～

第1回学校評価児童アンケートでは、「先生や友達の話一度で聞くことができますか」「自分から進んであいさつしていますか」などの質問をはじめとほとんど項目で「よくできている・だいたいできている」と答えています。それに対し、保護者、教職員アンケートの実現度は児童ほど高くありません。嵯峨小学校の児童は何事にも前向きで、自分自身の振り返りについては肯定的に捉えているようです。児童は学校だけでなく地域や家庭でもがんばったことを褒められることで自己肯定感や有用感をもちます。それとともに、できていないことについては、指摘し、「やらせ切る」厳しさも必要になってきます。大体できているから良いというのではなく、目標を高く設定し、それに向けて根気強く指導する必要があります。「言語活動の充実」「規範意識の行動化」の実現に向けて、学校での取組を家庭・地域へ発信していきます。



学校運営協議会による学校関係者評価 (自己評価に対する評価)

学校関係者評価を学校運営に生かします

平成26年10月23日(木)に開催した学校運営協議会において、平成26年度第1回の学校評価結果について以下のような学校関係者評価をいただきました。嵯峨小学校への温かいご支援に感謝するとともに今後の学校運営に反映させていきたいと思ひます。

☆ 学力向上に向けて、きめの細かい指導、わかる楽しい授業を

「授業がわかる」と多くの児童が答えていることは喜ばしい。

放課後まなび教室で、「わかりません」と言える児童がいたが、わからないことをわからないと言えることは大切なことである。一人一人を見つめる、きめの細かい指導をお願いしたい。

☆ 自分から進んで行動できる子どもに育てていきたい

集団登校で、自分から進んであいさつをする児童は少ない。子どもたちが進んであいさつをしたり、きまりを守ったりできるように見守っていききたい。

☆ 児童の安全・安心のために学校・家庭・地域が連携します

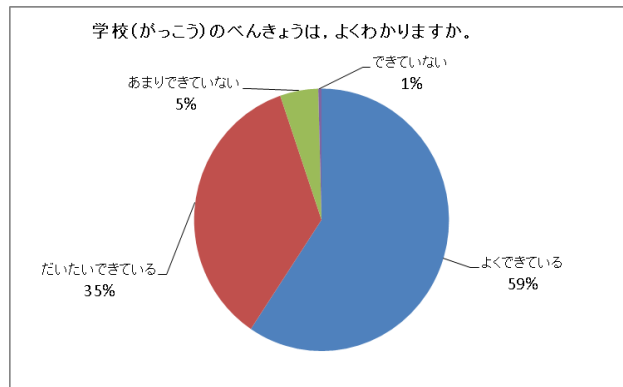
地域の人のつながりを大切にし、交通事故や不審者等への取組を進めていきたい。また、健全な情報に関するモラルについても関心をもち、学校・家庭・地域で子どもを見守っていききたい。

<平成26年度 学校評価結果>

① 確かな学力の育成に向けて

わかる授業

今回のアンケートで、多くの児童は、学校の授業が「わかる」「楽しい」と答えています。意欲をもち、生き生きと学習に取り組む姿が見えてきます。すべての学級で「わかる授業」を目指して、①めあてをはっきりとさせた授業、②教師の言葉が少ない授業、③学習を視覚的に振り返ることができる板書、④全員が発言できる授業に取り組んできた成果だと言えます。5・6年生のジョイントプログラムの結果では、算数の正答率が平均より約10ポイント上回りました。1時間の授業を大切に、ていねいなノート指導の成果がここにも見られます。一方、国語は漢字や言葉などの言語事項に課題が見られました。繰り返し学習や辞典を活用する等スキルアップに力を入れていきます。



伝え合う力

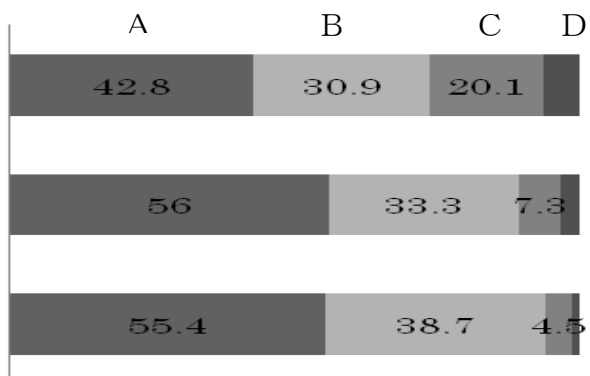
A よくできている B だいたいできている C あまりできていない D できていない

児童

授業中すすんで手をあげていますか。

授業中にグループで話し合うことは好きですか。

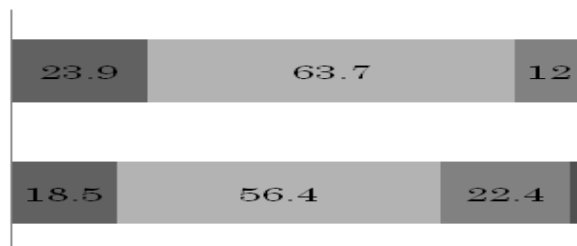
先生や友達の話一度で聞くことができますか。



保護者

お子さんは、学校で勉強している内容が分かっていると思われますか。

お子さんは、人の話をしっかり聞いたり、自分の思いや考えを話したりできていると思われますか。



伝え合う喜びを味わい、自分の思いや考えを確かに伝えて豊かな言語力・表現力を育てるための取組を進めています。授業中すすんで手を挙げている児童は74%に対し26%の児童はできていないと答えています。一方、グループで話し合うことは好きと答えている児童は約90%に上っています。話し合いを通して自分の考えを確かなものにし、学習を深めていくためには、話すこととともに、聞くことにも力を入れていく必要があります。今後も安心して話せる二人組やグループでの話し合い活動を授業の中で効果的に取り入れて、全体でも活発な話し合いができるようにしていきます。また、「話す・聞く・書く・読む」の内容やそのステップを学年に応じて指導していきます。

英語活動・外国語活動

児童

英語活動・外国語活動の時間は楽しいですか。

80.4

15.2

保護者

おさんは、英語活動・外国語活動に関心があると思われますか。

33.5

47.3

16.2

嵯峨小学校は、外国語を通じてコミュニケーション能力の育成を目指し、1年生から6年生まで英語活動・外国語活動に取り組んでいます。児童アンケートでは、約96%が授業は楽しいと答えています。保護者の約80%が「子どもは英語活動・外国語活動にとっても関心が高い（楽しんでいる）」と答えています。積極的に人と関わろうとする子、相手の話をよく聞き、思いを受け止めようとする子を目指し、児童が興味関心をもてる教材や授業の研究を進めていきます。

読書

昨年度「めざせ100冊！読書マラソン」運動の一環として、読書ノートを活用して本を100冊読んだ児童は、全校（約500名）で238名（1年37名、2年79名、3年32名、4年20名、5年40名、6年30名）でした。今年度本校6年生の全国学力・学習状況調査の児童質問紙の回答によると、「1日2時間以上読書する児童が10%いるのに対し、「10分以下、全くしない」が、約30%でした。時間があれば読書する児童と、ほとんど本を手にしらない児童とが二極化しています。

今年度、学校図書館運営支援員・図書部を中心に図書室の整備を進めてきました。朝の読書指導を徹底すること、どんな本を読んでいるのかを把握することが今後の課題といえます。

② 豊かな心の育成に向けて

規範意識の育成

児童

「嵯峨小のきまり」を守っていますか

73.6

25.5

自分から進んであいさつをしていますか

71.5

22.5

チャイムを守っていますか

75.4

23.2

そうじの時間は、美しくなるようにがんばっていますか。

73.1

24.2

友だちや家の人、悲しくなるようなひどい言葉遣いをしないように気をつけていますか

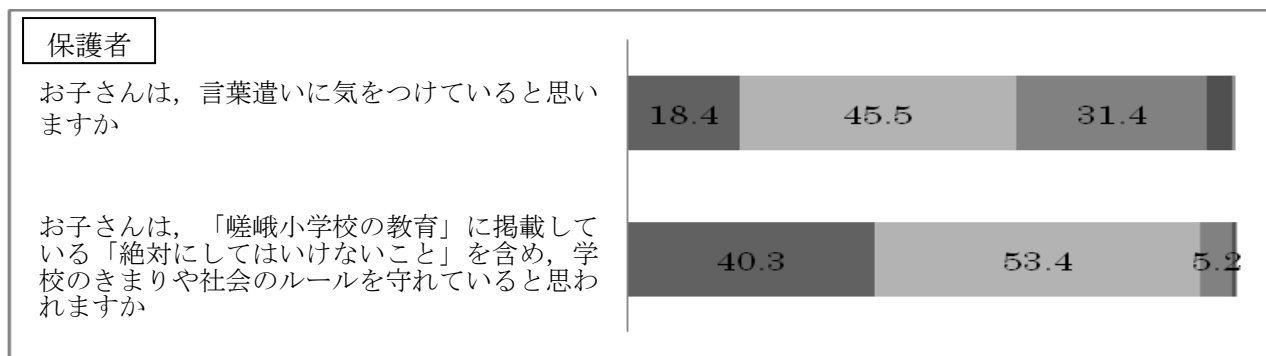
61.4

31.7

人をいじめたり、なかまはずれをしたり、おどしたりしないように、気をつけていますか

85.9

12



「嵯峨小のきまりを守っていますか」の問いには、ほぼ全員の児童ができていますと答えています。子どもたちがぶつかり合ったり、困難に直面した時に、何でも話したり相談したりできる温かい学級づくりを目指しています。信頼感・安心感に満ちた学級づくりを進めるために、「嵯峨小学校のきまり」をすべての児童に徹底しています。

「人をいじめたり、なかまはずれをしたり、おどしたりしないように、気をつけていますか」の質問には、児童の約98%が「できている」と答えています。児童は学級や学年、たて割りの中で起こった問題を解決することで、社会性を身につけていきます。相手の立場を考え、互いに協力し合い、時には指摘し合っているような子ども相互のつながりを積極的に支援していきます。また、相手を大切にしたい、場に応じた適切な話し方や言葉遣いについても、授業はもとより学校生活のさまざまな場面で指導していきます。

情報モラル

全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果によると、本校6年生の約半数が携帯電話やスマートフォンを持っており、そのうち66%の児童は1日1時間以内、約20%が2～3時間通話やメールをしていると答えています。また、テレビゲーム等を約83%の児童がしており、約40%が1時間以内、約28%が2時間以内、4時間以上していると答えた児童も約5%いました。いずれの結果から、家庭で1時間以内と約束を決めて使っていることが伺えますが、長時間している児童もいることがわかりました。

現在、情報の氾濫、それに伴う犯罪が社会問題化しています。学校でも「情報モラル」として写真や個人情報の扱い、送ってはならない情報について指導していますが、家庭とも連携しながら進めていく必要があります。インターネットで調べたことが、必ずしも正しいとはいえない場合もあります。情報を書物などで調べるなど吟味する力もつけていきたいものです。

豊かな体験活動

嵯峨小学校は、校区に歴史的な名所が点在し、伝統や文化に触れる機会が多い地域です。

社会科や総合的な学習では地域の歴史や産業や伝統文化、地域に貢献した人々を教材化しています。

6年生の茶道体験、生け花体験を始め3年生の農業の学習なども地域の方々から教えていただいています。

全国学力・学習調査 児童質問紙「今住んでいる地域の行事に参加していますか」では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は87%で全国平均を20ポイントも上回っています。嵯峨の子どもたちは地域の方々から常に見守られ、育てていただいています。

今後も地域を愛し誇りに思う心を育む教育活動を続けていきます。